

3

がい しゅつ ちゅう おお じ しん お 外出中に 大地震が起こったら

おくがい きけん かい ひ ほうほう (1) 屋外での危険と回避方法

あなたの通学経路やよく行く場所について、どのような危険があるか、写真を参考に考えて書いてください。また、危険の避け方も書きましょう。

ばしょ 場所	かんが きけん 考えられる危険	きけん さ かた 危険の避け方
れい 例) ○○駅	・パニックになった人たちが出口に集中するの巻き込まれる。 ・線路に落ちる。	・大きな柱の近くや広い場所に移動して、揺れが収まるまでそこにいる。



写真提供:東松島市



写真提供:浦安市

はな あ 話し合ってみよう!

平成30年度防災に関する県民意識調査(三重県)では、「東日本大震災発生時に危機意識を持ち、その後、時間の経過とともに危機意識が薄れつつあったが、近年頻発する地震により、再び高まった」と答えた方が前年度の28.5%から44.3%と大きく増加しています。危機意識を風化させないために高校生ができることを話し合ってみましょう。

(2) 通学経路での安全な場所と避難行動

あなたの通学経路の近くにある「安全と思われる場所」とその理由を書いてください。また、揺れが収まった後の行動も書きましょう。

場所	安全と思う理由	揺れが収まった後の行動
例) 〇〇工場の駐車場	広くて、 周りに何も無い。	近くの △△小学校へ行く。

※公共交通機関を利用する人は、最も利用する交通手段について、調べてみましょう。

交通機関名	地震時の対応	揺れが収まった後の行動

ヒント

何に対して「安全」かによって、考え方を変える必要があります。津波が来る恐れのある場合、まず揺れから身を守り、その後すぐ高いところへ避難すること、また、大きな地震が起きて避難した後、さらに大きな地震が発生することも想定して次の行動を考えるなど、二段構えの対応をしましょう。



対策

大規模災害時は、通信全般に規制がかかりますので、災害用伝言ダイヤル(171)を利用しましょう。また、家族と、災害時の避難先やお互いの連絡手段を話し合っておきましょう。

(3) 出かけた先で大地震が起こったら

修学旅行や部活動などで、普段訪れない土地に行った際に、大地震が起こった場合どうしますか。無事に家に帰るまでを考えてみましょう。
